

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッションビジネス科		2020年度	2年 前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	服飾造形BⅢ	実習 実技	矢嶋 久美子	4

授業の到達目標	服飾教育の基礎となる授業で、基礎的技術の習得を目標とする
---------	------------------------------

授業の内容	<p>田中千代の服飾の基本となる授業である。 BⅡに続き基礎力を充実させ、作品の完成度を高める。 綿素材(裏無し)を中心にワンピース・シャツブラウス作製から田中式原型の操作方法や基礎的な平面作図を演習し服の構造について理解を深めると同時にデザインの表現力を高める。 課題に必要な縫製の基礎を段階的に学ぶ。</p>
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容			
1	作品 ワンピース	<パターン・ソーイング>	ワンピースとは	応用パターン 各自パターン カutting ソーイング
2	衿or袖付			など
3		<部分縫い>	コンシールファスナー付 見返し明き	スプリングホック付 など
4				
5				
6				
7				
8	作品 シャツブラウス	<パターン・ソーイング>	応用パターン 各自パターン	Cutting ソーイング など
9				
10		<部分縫い>	短冊明き 伏せ縫い	など
11				
12				
13				
14				
15				

<p>成績評価の方法</p> <p>:提出課題(パターン、作品、部分縫いなど)の評価 出席状況 :テスト(筆記用具、実寸パターン、部分縫い)</p>
--

<p>教員の実務経験(企業や団体での実務経験)</p>

<p>授業初日持ち物</p> <p style="text-align: center;">パターンの準備</p>	<p>学校で準備する教材など</p>
---	--------------------

<p>配付資料</p> <p style="text-align: center;">プリント配布</p>

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッションビジネス科		2020年度	2年 後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	服飾造形BIV	実習 実技	矢嶋 久美子	4

授業の到達目標	服飾教育の基礎となる授業で、基礎的技術の習得を目標とする
---------	------------------------------

授業の内容	<p>田中千代の服飾の基本となる授業である。 BⅢに続き基礎力を充実させ、作品の完成度を高める。 BⅣでは、一重仕立てのジャケットの製作を通して服の構造の理解を求め、 課題に必要な縫製を段階的に学ぶ。</p>
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容			
1	作品	<パターン・ソーイング>		
2	一重ジャケット	ジャケットについて	ゆとりの入れ方	テーラードカラー 袖の目の描き方 二枚袖
3	テーラードカラー	ジャケット応用パターン	各自応用パターン	カッティング フィッティング ソーイング
4	ポケット付き			
5		<部分縫い>		
6		片玉縁ポケット	箱ポケット	フラップポケット あきみせ 裾始末 など
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15	▼			

成績評価の方法	:提出課題(パターン、作品、部分縫いなど)の評価 出席状況 :テスト(筆記用具、実寸パターン、部分縫い)
---------	---

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)	
----------------------	--

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
---------	-------------

配付資料	プリント配布
------	--------

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッションビジネス科		2020年度	2年前・後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	ファッションビジネス論	講義 演習	伊藤 美散	2

授業の到達目標	ファッション業界の情報に敏感になり、興味関心を持たせることを目指す。
---------	------------------------------------

授業の内容	ファッション業界の今を知ることで、現状の理解や今後の発展を考える。織研新聞やWWD、インターネットを活用し、情報を敏感に捉える。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	ファッションの気になるニュースを探す
2	知っておきたいファッション用語
3	ファッション業界を動かす世界のコングロマリット
4	ブランドを率いるデザイナー
5	ファッションロー
6	"
7	ライセンスビジネス、コラボレーション
8	"
9	計数管理
10	"
11	ファッションビジネスとIT
12	"
13	ファッションビジネスとサステナブル
14	"
15	総括

成績評価の方法
授業態度、出欠席、課題提出状況による総合評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

授業初日持ち物 筆記用具、はさみ、カッター、のり、A4ノート	学校で準備する教材など
-----------------------------------	-------------

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッションビジネス科		2020年度	2年前・後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	ファッションマーケティングⅡ	実習	伊藤 美散	1

授業の到達目標	さまざまな情報が溢れるなか、自分で行って、見て、感じて、考える力を養い、情報に左右されない考え方ができるようになることを目指す。
---------	--

授業の内容	百貨店や商業施設、話題のショップなどのリサーチを行い、分析と考察を加えてファッション業界の今を体感し、理解を深める。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	新宿伊勢丹リサーチのための事前調査
2	〃
3	〃
4	ミヤシタパークリサーチ
5	リサーチまとめ
6	新宿伊勢丹リサーチ
7	リサーチまとめ
8	〃
9	銀座リサーチのための事前調査(ギンザシックス・阪急メンズ・DSMなど)
10	〃
11	〃
12	銀座リサーチ
13	リサーチまとめ
14	〃
15	総括

成績評価の方法	授業態度、出欠席、課題提出状況による総合評価
---------	------------------------

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)	
----------------------	--

授業初日持ち物 筆記用具	学校で準備する教材など
-----------------	-------------

配付資料	
------	--

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッションビジネス科		2020年度	2年前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	ファッションビジネス企画Ⅲ	演習 実技	佐藤 崇・伊藤 美散	3

授業の到達目標	売れる商品企画、製作を含めてお客様のことを考えた品揃えをショップ運営を通して学ぶ。また上代、下代を考えた商品企画、製作を意識することを目指す。
---------	---

授業の内容	学生ショップオープンに向けて、ブランド企画、商品企画・製作、価格設定などを行い、実店舗での販売活動を行う。またトレンドを意識した商品企画を行う。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	ブランドコンセプトの見直し・商品製作
2	商品製作
3	
4	ショップオープン準備
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	▼
15	前期総括

成績評価の方法	授業態度、出欠席による評価
---------	---------------

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)	
----------------------	--

授業初日持ち物 筆記用具、裁縫用具など1年次の続きの作業ができるようにすること	学校で準備する教材など
--	-------------

配付資料	
------	--

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッションビジネス科		2020年度	2年後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	ファッションビジネス企画Ⅳ	演習 実技	佐藤 崇・伊藤 美散	3

授業の到達目標	売れる商品企画、製作を含めてお客様のことを考えた品揃えをショップ運営を通して学ぶ。また上代、下代を考えた商品企画、製作を意識することを目指す。
---------	---

授業の内容	学生ショップオープンに向けて、ブランド企画、商品企画・製作、価格設定などを行い、実店舗での販売活動を行う。またトレンドを意識した商品企画を行う。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	商品製作
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	↓
15	年間総括

成績評価の方法	授業態度、出欠席による評価
---------	---------------

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)	
----------------------	--

授業初日持ち物 前期の作業ができるようにすること	学校で準備する教材など
-----------------------------	-------------

配付資料	
------	--

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッションビジネス科		2020年度	2年前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	リテールMDⅢ	講義 演習	伊藤 美散	4

授業の到達目標	普段からコレクションやファッション雑誌、店舗の品揃えなど、トレンドに敏感に反応する習慣を身に付け、先を予測できる力を養うことを目指す。
---------	---

授業の内容	コレクションの分析を行い、次シーズンのトレンドを予測した品揃え企画を行う。
-------	---------------------------------------

回	授業計画 及び 学習の内容
1	2020年SSコレクション解説
2	コレクションマップ制作
3	"
4	SSトレンド予測マップ
5	"
6	ショップ企画 ターゲット設定 マップ制作
7	"
8	ショップ設定・競合店リサーチマップ制作
9	"
10	品揃え企画 マップ制作
11	"
12	2020-21年AWコレクション分析 マップ制作
13	"
14	AWトレンド予測マップ制作
15	"

成績評価の方法 授業態度、出欠席、課題提出状況による総合評価
--

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

授業初日持ち物 筆記用具、はさみ、カッター、のり、 1年次のリテールMDのノート、 20年SSコレクション雑誌	学校で準備する教材など
--	-------------

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッションビジネス科		2020年度	2年後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	リテールMDIV	講義 演習	伊藤 美散	4

授業の到達目標	2年間の集大成として、ブランド企画を実物化するために必要なイメージ表現の難しさや楽しさを体感する。
---------	---

授業の内容	卒業研究、卒業研究PCワークの授業と連携して行う。 テーマに基づく、ブランド企画を行い、実物作品製作などに取り組む。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	個人テーマを探す
2	↓
3	現状分析のための資料収集、分析
4	↓
5	ブランド立案 コンセプト、ターゲット、商品企画、ウィンドーディスプレイ企画など
6	↓
7	製作実習
8	↓
9	↓
10	プレゼンテーション練習
11	↓
12	展示準備
13	↓
14	↓
15	総括

成績評価の方法	授業態度、出欠席、課題提出状況による総合評価
---------	------------------------

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)	
----------------------	--

授業初日持ち物 筆記用具	学校で準備する教材など
-----------------	-------------

配付資料	
------	--

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッションビジネス科		2020年度	2年前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	スタイリストワーク	実習 実技	伊藤 美散	1

授業の到達目標	販売員として店頭に立った際、さまざまな年齢層や体型、テイストの違うお客様にコーディネート提案ができるようになることを目指す。
---------	--

授業の内容	年齢別のコーディネートの特徴や体型によるコンプレックス解消に役立つコーディネート提案力を高める。またリメイクを通してイメージを表現する力を養う。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	年齢別コーディネートについての解説
2	マップ制作
3	〃
4	〃
5	〃
6	リメイクによるイメージ表現 イメージマップ制作
7	イメージマップ制作
8	リメイク実習
9	〃
10	〃
11	体型別コーディネートについての解説
12	マップ制作
13	〃
14	〃
15	〃

成績評価の方法
授業態度、出欠席、課題提出状況による総合評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

授業初日持ち物 筆記用具、はさみ、カッター、のり	学校で準備する教材など
-----------------------------	-------------

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッションビジネス科		2020年度	2年前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	VMD I	講義 演習	渡邊 純子	2

授業の到達目標	百貨店・専門店など小売店舗に必要な販売戦略を学び、基本のビジュアルプレゼンテーションテクニックを習得し、実践にて活用できるようにする。
---------	---

授業の内容	「VMDとは何か」「小売店ではどのようにしてお客様を接客し、売上げのつなげているのか」学生たちの実体験やウィンドーディスプレイリサーチ、展示会见学などを踏まえてその謎を解いていくと共に模型を作りながらその戦略を考える。またマネキンのウェアリングなど実技実習にてテクニックを習得する。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	VMDとは何か／お店のGOOD&BAD
2	購買心理について・五感に訴えるお店作りとは／VP・PP・IPの役割
3	マネキン会社展示会见学
4	VPについて(5W2H)／ウィンドーディスプレイリサーチ
5	ウィンドーディスプレイリサーチ発表／マネキンのウェアリング
6	マネキンのウェアリング テスト／マネキンのウェアリング応用(テグスの使い方・ネクタイ&スカーフの結び方)
7	IP・PPについて／フォールデット・レイダウン
8	ボディのウェアリング／ピンナップ
9	ボディのウェアリングテスト／布の扱い方(アンビエ・ドゥブルビエ)
10	〈グループワーク〉VMDマップ&模型作成 ショッププランニング／イメージカラーージュ
11	〈グループワーク〉VMDマップ&模型作成 平面図作成・ソーニング
12	横浜ディスプレイミュージアム見学
13	〈グループワーク〉VMDマップ&模型作成 模型製作
14	〈グループワーク〉VMDマップ&模型作成 模型製作
15	〈グループワーク〉VMDマップ&模型作成 プレゼンテーション

成績評価の方法
提出課題の評価・実技実習の評価・出席率

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
百貨店・大型商業施設・展示会にてVMDのデザイン及び施工に携わる。 商業施設及び店舗にてVMDセミナー 「商品装飾展示技能試験」の対策セミナー

授業初日持ち物 筆記用具	学校で準備する教材など
-----------------	-------------

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッションビジネス科		2020年度	2年後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	VMD II	講義 演習	渡邊 純子	2

授業の到達目標	百貨店・専門店など小売店舗に必要な販売戦略を学び、基本のビジュアルプレゼンテーションテクニックを習得し、実践にて活用できるようにする。
---------	---

授業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・エントランス展示ディスプレイデザイン/ファッションショーの衣装展示のデザイン、製作、設営 ・クリスマスツリーデコレーション/デザイン、製作、設営 ・ウィンドーディスプレイ/各自で商品を決め、そのウィンドーディスプレイのデザインを考え、製作する。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	〈エントランス展示ディスプレイデザイン〉ファッションショーの衣装展示のディスプレイを考える/プラン作成(一点透視図法の描き方)
2	〈エントランス展示ディスプレイデザイン〉プラン作成(一点透視図法の描き方)/演出物製作
3	〈エントランス展示ディスプレイデザイン〉演出物製作
4	〈エントランス展示ディスプレイ実施〉〈クリスマスツリーデコレーション〉企画書・デザインの作成
5	〈エントランス展示ディスプレイ実施〉〈クリスマスツリーデコレーション〉デザインプレゼンテーション/製作スケジュールミーティング
6	〈エントランス展示ディスプレイ実施〉〈クリスマスツリーデコレーション〉演出物製作
7	〈クリスマスツリーデコレーション〉ラッピング
8	〈クリスマスツリーデコレーション〉演出物製作/デコレーション
9	ピンワーク
10	〈最終課題〉ウィンドーディスプレイについて/スペース組み立て
11	〈最終課題〉ウィンドーディスプレイ テーマ・コンセプトの作成
12	〈最終課題〉ウィンドーディスプレイ デザイン画作成
13	〈最終課題〉ウィンドーディスプレイ 製作
14	〈最終課題〉ウィンドーディスプレイ 製作
15	ウィンドーディスプレイ プレゼンテーション/総まとめ

成績評価の方法
提出課題の評価・実技実習の評価・出席率

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
百貨店・大型商業施設・展示会にてVMDのデザイン及び施工に携わる。 商業施設及び店舗にてVMDセミナー 「商品装飾展示技能試験」の対策セミナー

授業初日持ち物 各自製作した衣装	学校で準備する教材など 〈最終課題〉ウィンドーディスプレイで使用するスペース用資材 (段ボールorボード要検討)
---------------------	--

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッションビジネス科		2020年度	2年前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	インターネットビジネスⅡ	実習 実技	柴田 聡	2

授業の到達目標	インターネットビジネスの理解、テーマに沿ったコンテンツの理解、作成。ホームページは各自が自分のサイトを運営状況。Google検索、アクセス解析の理解。
---------	---

授業の内容	インターネットビジネスで使うことができるコンテンツ作成をめざします。ビジネスで使うラインスタンプの作成、申請実用まで。ホームページは各自が自分のサイトを運営します。ワードプレスでサイトを作成。コンテンツはファッション関連に限り、サイトを運営にたいしてSNS、Youtubeの連携をして、Google検索の上位表示、GoogleAnalyticsでのアクセス解析から集客をめざします。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	概要説明 インターネットビジネスについて
2	フォトショップの演習 オリジナルラインスタンプを作る
3	オリジナルラインスタンプを作る
4	情報発信サイトのコンテンツを決める
5	情報発信サイトの作成。CMSのワードプレスを理解
6	Webライティングの重要性とGoogle検索の理解
7	Webライティングの勉強、Goole検索対策
8	Youtubeチャンネルの登録
9	Youtube動画作成、アップロード。
10	情報発信サイト運営
11	情報発信サイト運営
12	情報発信サイト運営
13	情報発信サイト運営
14	情報発信サイト運営
15	プレゼンテーション、講評会

成績評価の方法 作業は学校のPCのみとなりますので課題はありません。授業で行う作業や授業態度で評価します。あわせてサイト運営する上で検索結果、アクセス解析などを総合的に評価いたします。
--

教員の実務経験(企業や団体での実務経験) 有限会社檀クリエイト(デザイン・インターネット・メディア制作)にて30年勤務・代表。クライアントは企業・自治体等

授業初日持ち物 スマートフォン、ノート、筆記用具	学校で準備する教材など レンタルサーバー、ドメインなど
-----------------------------	--------------------------------

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッションビジネス科		2020年度	2年後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	インターネットビジネスⅢ	実習 実技	柴田 聡	1

授業の到達目標	ECサイトの理解、販売サイト、商品コンテンツ作成。前期インターネットビジネスⅡで作成した情報発信サイト運営状況
---------	---

授業の内容	ECサイト(Base.jp)を利用して各自がECサイトを作成いたします。実際の商品(他授業で作成、販売)を各自作成のECサイトにアップする。実際の販売は無し。インターネットビジネスⅡで運営している情報発信サイトの継続。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	インターネットビジネスにおけるECサイトのポジション、ECサイトの概念
2	商品カテゴリー、商品ページ、販促ページ、ショップ情報ページの検討、作成
3	LPランディングページを勉強する
4	ECサイトの作成開始
5	ECサイトの作成
6	ECサイトの作成
7	ECサイトと情報発信サイトとの連携
8	情報発信サイト運営
9	情報発信サイト運営
10	情報発信サイト運営
11	情報発信サイト運営
12	情報発信サイト運営
13	情報発信サイト運営
14	情報発信サイト運営
15	プレゼンテーション、講評会

成績評価の方法	インターネットに対する理解度。ECサイトの作成、情報発信サイト運営力を評価します。
---------	---

教員の実務経歴(企業や団体での実務経歴)	有限会社権クリエイト(デザイン・インターネット・メディア制作)にて30年勤務・代表。クライアントは企業・自治体等
----------------------	--

授業初日持ち物 スマートフォン、ノート、筆記用具	学校で準備する教材など レンタルサーバー、ドメインなど
-----------------------------	--------------------------------

配付資料	
------	--

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッションビジネス科		2020年度	2年前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	ファッションCGⅢ	実習・実技	佐藤 崇	1

授業の到達目標	イラストレーター、フォトショップを使用したデザイン構成の習得。スタイリングコーディネート
---------	--

授業の内容	<p>学校で学ぶファッションCG演習の総仕上げ。 1年から学んだ、イラストレーター、フォトショップを使って、構成・レイアウトなど身につける。 最終課題として4Dayコーディネイトのスタイリング・撮影・構成を自ら行い制作する。</p>
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	デザインレイアウトテクニック確認
2	書体と文字、色彩と法則について
3	レイアウトと配色について
4	ポスター制作(デザイン)
5	ポスター制作(構成・レイアウト)
6	ポスター制作(構成・レイアウト)
7	コーディネートスナップについて
8	コーディネートスナップ制作(アイテム・コーディネート提案)
9	コーディネートスナップ制作(アイテム・コーディネート提案)
10	コーディネートスナップ制作(アイテム撮影)
11	コーディネートスナップ制作(アイテム撮影)
12	コーディネートスナップ制作(PCワーク構成)
13	コーディネートスナップ制作(PCワーク構成)
14	コーディネートスナップ制作(フィニッシュワーク)
15	コーディネートスナップ制作(フィニッシュワーク)

成績評価の方法	<p>授業内容の習得度の確認。(ペーパーテスト、実地見学のレポート、等。)</p> <p>出席状況、作品評価、授業に取り組む姿勢</p>
---------	--

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)	
----------------------	--

授業初日持ち物 筆記用具	<p>学校で準備する教材など プロジェクター</p>
-----------------	--------------------------------

配付資料	プリント配布
------	--------

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッションビジネス科		2020年度	2年前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	素材学Ⅱ	講義 演習	島田 朋子	2

授業の到達目標	素材の基本知識の復習し、素材と素材名を生地をファイリングしながら覚えることで実務に使える知識を習得する。商品知識を深めつつ品質について学ぶことで、社会人として必要な知識を身につける。
---------	---

授業の内容	業界で働く上で必要な知識を、実際の素材を添付しながら覚えていく。1年次から引き続いて素材の基礎知識を学ぶ。品質について深く知る。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	1年次の復習と2年次の授業の進め方(繊維の種類について小テスト実施)
2	素材感と素材名を知る①、化学繊維について
3	素材感と素材名を知る②、織物について
4	素材感と素材名を知る③、編物について
5	素材感と素材名を知る④、糸について
6	素材感と素材名を知る⑤、染色について(繊維と染料の関係)
7	脱色加工とステンシル加工(1年生と一緒に材料で)
8	素材感と素材名を知る⑥、後加工について
9	素材感と素材名を知る⑦、アパレルでよく使用する素材・アウター
10	素材感と素材名を知る⑧、アパレルでよく使用する素材・トップス&ボトムス
11	品質について①、家庭用品品質表示法と原産国表示について
12	品質について②、洗濯絵表示、品質試験について
13	ターゲットを考えアイテムと素材を構成する①
14	期末テスト
15	ターゲットを考えアイテムと素材を構成する②

成績評価の方法	受講姿勢、提出物、筆記試験
---------	---------------

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)	繊維製品品質管理士、品質管理 テキスタイルデザイナー、OEM商品企画 など
----------------------	--

授業初日持ち物 ・1年時のファイル、はさみ、筆記具、両面テープ、 テキスタイル用語辞典	学校で準備する教材など
---	-------------

配付資料 資料プリント	
----------------	--

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッションビジネス科		2020年度	2年後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	卒業研究PCワーク	実習 実技	柴田 聡	2

授業の到達目標	パワーポイント、イラストレーター、フォトショップを使用して作品の完成。自分が描くイメージに到達できるよう指導いたします。
---------	--

授業の内容	卒業研究のプレゼンテーション時のパワーポイント作成。展示のビジュアル作品(パネル用資料、名刺、DM、パンフレットなど)の制作をこの授業で行います。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	卒業研究資料作成の説明、パワーポイントの説明
2	パワーポイントで卒業研究資料、作品制作
3	パワーポイントで卒業研究資料、作品制作
4	パワーポイントで卒業研究資料、作品制作
5	パワーポイントで卒業研究資料、作品制作
6	パワーポイントで卒業研究資料、作品制作
7	パワーポイントで卒業研究資料、作品制作
8	パワーポイントで卒業研究資料、作品制作
9	パワーポイントで卒業研究資料、作品制作
10	パワーポイントで卒業研究資料、作品制作
11	パワーポイントで卒業研究資料、作品制作
12	パワーポイントで卒業研究資料、作品制作
13	パワーポイントで卒業研究資料、ビジュアル、作品制作
14	パワーポイントで卒業研究資料、ビジュアル、作品制作
15	卒業アルバム制作

成績評価の方法
作品の出来上がりから、技術力、イメージ力、構成力、授業態度から総合的に判断。

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
有限会社権クリエイト(デザイン・インターネット・メディア制作)にて30年勤務・代表。クライアントは企業・自治体等

授業初日持ち物 スマートフォン、ノート、筆記用具	学校で準備する教材など
-----------------------------	-------------

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッションビジネス科		2020年度	2年後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	卒業研究	実習 実技	伊藤 美散	2

授業の到達目標	自分の考え方を言葉やビジュアル作品で表現し、どうすれば相手にわかりやすく伝わるか、共感を得られるかを考え、2年間の集大成とする。
---------	--

授業の内容	リテールMD, 卒業研究PCワークの授業と連携して行う。 テーマに基づいた研究を行い、プレゼンテーションと作品展示で発表する。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	個人テーマを探す
2	↓
3	現状分析のための資料収集、分析
4	↓
5	ブランド立案 コンセプト、ターゲット、商品企画、ウィンドーディスプレイ企画など
6	↓
7	製作実習
8	↓
9	↓
10	プレゼンテーション練習
11	↓
12	展示準備
13	↓
14	↓
15	総括

成績評価の方法	授業態度、出欠席、課題提出状況による総合評価
---------	------------------------

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)	
----------------------	--

授業初日持ち物 筆記用具	学校で準備する教材など
-----------------	-------------

配付資料	
------	--

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッション総合科		2020年度	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択 B	テキスタイル(織物)	実習 実技	馬場 美和子	1

授業の到達目標	手織り機の機ごしらえと操作ができる。 製織することで布の成り立ちを理解する。 織った布を身につけたり服飾小物を仕立てることで手織りの楽しさを体験する。
---------	---

授業の内容	手織り機を使って織物の基本である織物三原組織、平織、斜文織、朱子織を織ることでテキスタイルデザインの基礎的な理論と技術を学ぶ。 チェック柄をデザインし、織ることで織物の特徴である色彩混合を学び、織物設計ができる技術を身につける。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	布の種類と織物の諸技法のガイダンス
2	基礎制作:三原組織 平織、斜文織、朱子織のテーマットを織る。2色の色系を選び、整経する。
3	基礎制作:三原組織 機ごしらえ(箆通し、綜統通し、織つけ)
4	基礎制作:三原組織 製織する。
5	基礎制作:三原組織 製織する。
6	基礎制作:三原組織 製織を終わらせる。フサの始末と布の整理(仕上げ)をする。
7	応用制作:色彩混合 チェック柄をデザインし、服飾雑貨を制作する。 彩色して色のイメージを考える。
8	応用制作:色彩混合 糸を選ぶ。織物設計表を作成する。
9	応用制作:色彩混合 整経をする。
10	応用制作:色彩混合 機ごしらえする。
11	応用制作:色彩混合 製織する。
12	応用制作:色彩混合 製織する。
13	応用制作:色彩混合 製織を終わらせる。布の始末をし、バッグ、ポーチなど服飾小物に仕立てる。
14	応用制作:色彩混合 縫製する。
15	合評会 基礎・応用制作を発表し、意見交換する。

成績評価の方法	期末提出物、平常点・授業姿勢
---------	----------------

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)	公益社団法人 日本クラフトデザイン協会会員
----------------------	-----------------------

授業初日持ち物 ハサミ、メジャー、筆記用具、A4クリアファイル10ポケット 材料費¥2000-(系代 他実費)	学校で準備する教材など
---	-------------

配布資料	プリント配布
------	--------

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッションビジネス科		2020年度	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択 B	帽子	実習 実技	児玉 政子	1

授業の到達目標	様々な素材やパーツの組み合わせ方など、製作を通して帽子の構造を学ぶ。布を使用してプリムのある帽子、フェルトの帽体で木型を使用して帽子の形作りを学ぶ。
---------	--

授業の内容	布を使用してプリムのある帽子を制作する。 フェルトの帽体で木型を使用して帽子の形作り、蒸気によるプリムの成形で制作する。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容	
1	帽子の歴史、種類、素材、用具について 布帽子パターン、採寸、各自パターン作成	
2	布帽子制作(2枚接ぎ)	
3	↓	
4		
5		
6		
7		
8		▼ 布帽子提出
9		フェルト帽子製作
10	↓	
11		
12		
13		
14		
15		▼ フェルト帽子提出

成績評価の方法
作品、実習態度、出席状況(木型を使用する為、学校で実習)

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
製図用紙、ルーラー式、メジャー、 洋裁用具、A4クリアファイル、	特に無し

配付資料
プリント配布

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッション総合科		2020年度	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択 B	基礎英会話	講義	宇治田 紀子	2

授業の到達目標	日本を訪れる外国人旅行者に英語で対応する際の基本的な表現や説明の仕方を学ぶことを目標としています。
---------	---

授業の内容	外国人を接客する際に必要な語彙や日本食、伝統文化に関する説明から宿泊施設、観光地などの案内を英語でどのように言えば良いのか、基本的な表現を使って伝える練習を行います。接客英会話の入門という位置づけで、普段使う英語とは少し違う会話を勉強して行きます。従って最初は少し戸惑うかもしれませんが、今度自分たちが旅行者となった場合にも役立つことができますし、普段の生活をする上でも使える表現が沢山出てきます。決して簡単ではないかもしれませんが、基礎的な英語を重視して授業を行います。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	Unit 1 Transportation (交通案内)
2	Unit 2 At a Check-in Counter (ホテルでのチェックイン)
3	Unit 3 Facilities and Services (ホテル内の施設やサービス案内)
4	Unit 4 Giving Directions (街歩きのための道案内)
5	Unit 5 Recommending a Trip (観光スポットを薦める)
6	Unit 6 Dining in Japan 1 (日本食の紹介1)
7	Unit 7 Dining in Japan 2 (日本食の紹介2)
8	Unit 8 Arranging a Tour (国内旅行の手配)
9	Unit 9 Staying at a Ryokan (旅館について)
10	Unit 10 Culture Experience in Japan (日本文化体験)
11	Unit 11 Japanese Souvenirs (お土産)
12	Unit 12 Dealing with Health Problems and Emergencies (けがや病気の対応)
13	Unit 13 Dealing with complaints and Accidents (クレームやアクシデントの対応)
14	Unit Upon Departure (帰国に際して)
15	試験

成績評価の方法 毎回の授業中に行うアクティビティーに対する評価と学期末試験の結果を総合して評価します。

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

授業初日持ち物 筆記用具	学校で準備する教材など
-----------------	-------------

配付資料
